

恵那市橋梁長寿命化計画

1. 橋梁長寿命化計画とは

橋梁は年とともに劣化や損傷が生じますが、それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事（再塗装やひび割れの補修など）を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

詳しくは → 国土交通省ホームページ（道路橋の予防保全の推進）へ
<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen.html>

2. 恵那市の橋梁概要

恵那市は504.19k m²の面積を有し77%を山林が占めています。市域には木曾川水系、庄内川水系、矢作川水系の3流域があり、そこに多くの河川や谷が点在しそれらを渡河する橋梁が多数架設されています。恵那市が市道として管理する橋梁は703橋となっています。そのうち橋長15m以上の橋梁は138橋ありますが、全体の8割が橋長15m未満の中小規模橋梁となっています。どの橋も地域間を結ぶ重要な橋であり、現在50年以上を経過したものは数橋ですが、今後増える老朽化への対応が必要となっています。

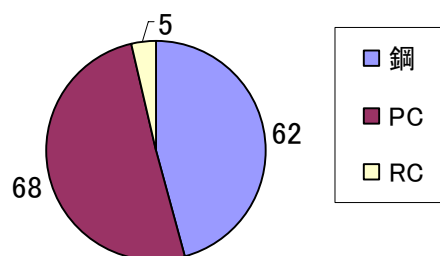


3.計画

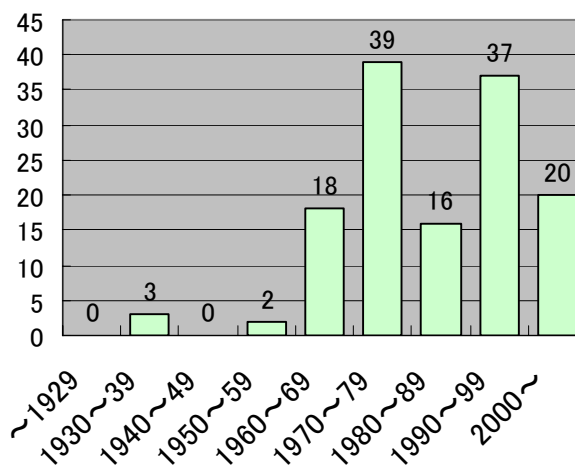
長寿命化計画を行う橋梁数は138橋です。1級市道、2級市道及びその他の市道から橋梁を選定して点検を行い、その結果に基づいて修繕の計画を立てました。

時 期	橋 梁
前期5ヵ年	第2上田橋、大日橋、両家橋、三作橋 等
後期5ヵ年以降	勢井後橋、河鹿橋、郡上橋、永田橋 等

恵那市 橋種内訳



恵那市 架設年度別橋梁数



- ※ この計画は、実施済みの点検結果などを基に策定しており、今後実施する点検の結果や、災害対応等の要因により変更となる場合があります。
- ※ 上記は平成23年度に計画を策定した135橋に関する分（10年分）であり、上記以外の橋でも修繕工事を行う場合があります。また橋梁点検も順次実施します。

4. 今後の取り組み

4.1 集約化・撤去

迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、令和 8 年度までに 2 橋程度の集約化・撤去を検討し、維持管理にかかる費用を約 2 百万円の縮減を目指します。また、施設の機能縮小、複数施設の集約化などの検討、社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路の整備状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用の縮減等を目標とする。

4.2 新技術の導入・活用に関する方針

令和 8 年度までに、管理する市道橋のうち、修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行うとともに、約 1 割程度の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする。

4.3 費用の縮減に関する方針

管理する市道橋については、新技術の活用した点検を重点的に検討し、令和 8 年度までの 5 年間で約 2 百万円のコスト縮減に努めます。また、将来の維持管理に係る修繕等の費用縮減を目指します。

5. 基本方針及び対策内容と実施時期、対策費用

今後は、道路法による定期点検（5 年に 1 回）を行ったうえで、橋梁の健全性を確保するとともに、健全度がⅢ以上として判定された橋については、速やかに対策を着手します。

また、健全度Ⅲ以上に判定された橋の修繕完了後は、健全度Ⅱの橋を対象に予防保全的な修繕を行います。

点検時期及び対策時期については、別表となります。